

ちゅーぞーていんばーでー

美しかった「インド洋」

みなさんこんにちは。12月に入り2週間がたとうとしています。もう少しで 2018 年も終わりですね。

こちらの生活は、21 日の終業式に向けて急ピッチで色々なことが動いています。3・4 日の2学期期末テストに始まり、成績評定、中3の成績確定会議、そして新年度に向けての教材確認 & 発注作業等々目白押しです。そんな中今一番熱い作業が『新校舎移転に向けて引っ越し作業』です。私が赴任した時旧校舎を壊し始めていたのですが、それから1年8か月。ようやく校舎ができました。21 日の終業式後、PTAの協力も得ながら引っ越しを行います。私の担当は「理科室」。校舎建設中は水道もないプレハブで授業を行っていたのですが、新設された理科室へとお引越しくなります。そのため、現在空き時間を見つけては廃棄するもの、持っていくものを鋭意整頓中です。何とか 21 日に間に合うよう頑張りたいと思います。



さて、今回はちょっと前の話になってしまうのですが、10 月下旬に行ってきた「ガパリ(Ngapali)」の話をしたと思います。

ミャンマー西海岸にある街ガパリは、こちらでは欧米人にとっても人気のあるビーチリゾートで、ちょっとヤンゴンから離れています。経路としては①陸路②空路の2パターンですが、①は一部高速道路もありますが、でこぼこの道を8時間近く走り続けなければならないので、現実的には②の方がオススメです。という訳で飛行機で行ったのですが面白い体験をすることができました。出発前ロビーで待っているとなぜか私たちが乗る飛行機に「2カ所」行先掲示がされていました。どういうことかな?と思いつつ搭乗し出発したのですが、着陸後スマホの位置情報で場所を確認してみると…ここはどこ!? どうやらガパリに向かう客だけでは乗客が足りなかったらしく、別目的地の客と一緒に飛行機を飛ばしていたようです。なので、別目的地の客が下りた後、再び離陸。無事ガパリ近郊のサンドウェー空港に到着しました。ちなみにこの「乗り合わせ」、ヤンゴンに戻るときは3カ所の乗り合わせになっていました。

ガパリの海はミャンマー西海岸なので、私の人生初の「インド洋」となります。近くのサンドウェー川で浸食されたきめ粉かな砂で覆われたビーチは遠浅になっていて、子どもが遊んでも安心。そして大きな環境開発等もないので、生き物もいっぱい。夜のビーチで懐中電灯を照らすと、砂浜のいたるところでカニやドカリが動いており、娘も大喜びしていました。



そしてきれいな風景だけではなく、美味しい料理もあります！この辺りはミャンマーの中では『ラカイン』と呼ばれる地方なのですが、こちらの名物は目の前のきれいな海でとれる美味しい海の幸!!! ホテルを出てちょっと行くといっぱいレストランが立ち並びます。ふらっとレストランに入って、エビの丸焼き、カニのカレーなど食べたいものをいっぱい注文し、のどが渇けばしぼりたてフレッシュジュース、そして焼きバナナのデザートをつけ、家族3人でしめて 30,000Ks! (=日本円で 2,200 円位。ちなみに生ビールは1杯 150 円位です。)あまりの安さ & 美味しさにびっくりです。ヤンゴンで食べたラカイン料理は総じて「辛い」という印象だったのですが、やはり鮮度などの問題もあるのかなと思いました。海からとれたての魚介類で作られた料理は、香辛料を多用しなくても味も香りもとても素晴らしく、自然あふれるラカインの豊潤な海を感じさせるものでした。心もおなかもしっかり満たされてしまいました。



私の3年の任期も折り返しを過ぎてしまいました。あと何回、知られざる『ミャンマーの素晴らしさ』を感じる事ができるかわかりませんが、その都度みなさんにお届けできればと思います。

それではまた来月、こちらでの生活を報告します。